



# たづがね

(鵲が音)



「笑顔いっぱい」「元気いっぱい」「夢いっぱい」の西北台っ子

## 地域の教材を学ぶということ - 5年生イカリモンハンミョウの観察 -

5年生は総合的な学習の時間に環境をテーマとした学習に取り組んでいます。その教材は「イカリモンハンミョウ」。絶滅危惧種に指定され、本州では柴垣海岸から志賀町大島海岸付近にのみ生息する昆虫だそうです。背中に船のイカリのようなマークがみられることからその名がついたと聞いています。この活動を推進する西屋さん、架谷さん、石川県生活環境課が学習のサポートをしてくださっています。



→ 西北台小の掲示物より

写真提供者・富沢章

この西北台小学校の地域には、このようなすばらしい学びの環境が整っています。歴史的価値の高い遺跡、海岸段丘が続く地形、寺社の数々、漁港、祭り・・・美味と評判のスイカの産地とも聞いています。モノだけではなくこれらに関係する人材も学ぶべき価値が高いと感じています。地域のこと、地域で生きる人々を子どもたちに学ばさぬ手はないと強く思うこの頃です。子どもたちがふるさとを学び、生涯にわたって語っていてももらいたいものです。

2019年  
6月19日  
北國新聞  
より

**絶滅危惧種 見つけた!**

**羽咋・西北台小児童が初採集**

羽咋市西北台小の5年生16人は25日、同市柴垣海岸で、本州では市内と志賀町の海岸にのみ生息する昆虫「イカリモンハンミョウ」の採集に初めて挑戦した。

イカリモンハンミョウは国の絶滅危惧1類、県の希少野生動物植物種に指定されている。採集は県の許可を得て、毎年恒例となっている観察会に合わせ行われた。児童らは砂の上を素早く動き回る様子に見入り、たもを使って採集した。観察会後にはイカリモンハンミョウを自然に戻した。

地元民でつくった保護団体「アロシエクトン」の会費で、県指定希少種保全推進委員の西屋さん(66)「次郎町」副会長の架谷成美さん(76)「寺家町」が指導役を務めた。

## 待ち遠しいプール開き

6月29日(月)に4年生5年生6年生がプール掃除をしました。ちょうど梅雨の晴れ間をぬっての活動でした。子どもたちはブラシを手に一生懸命取り組みました。みなさんのおかげで汚れもなくなり、きれいなプールによみがえりました。1年生から3年生もプールサイドの草取りを行いましたので、全校でプール掃除をしたこととなります。

プール開きは7月6日(月)です。子どもの健康と安全を守りながら学習します。さまざまな「きまり」がありますので、保護者の皆様にもご理解とご協力をお願いいたします。

